
扉の先に広がる世界

厨二病という大病にかかった男

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

扉の先に広がる世界

【Nコード】

N5498BA

【作者名】

厨二病という大病にかかった男

【あらすじ】

俺こと鍵宮 音頼はテンプレ的な白い空間で目覚める。だが待てども待てども神様は来ない
あれか？俺が幼女の神様を望んだから爺の方が拗ねたのか？なら爺でいいからとにかく神様来てよ！

プロローグ

キーンコーンカーンコーン

「席に着けーHR始めるぞー」

担任のやる気のない挨拶で沈みかけていた意識を前に向ける

ここはとある県にあるとある高校

俺はその高校に通う一年生だ。今は10月、特定の仲の良い友達なんかも出来て、クラスにはちらほらとカップルもいる。

しかし俺はそう友達も多くない。日本人特有の黒い髪は顔を隠すように伸びている。初対面の人に与えるイメージは間違いなく根暗な人、だろう

クラス内でも俺の素顔を見たことある奴は二人だけだ。まあ、友達もその二人だけだが…と朝から鬱になりそうな時に担任は連絡事項を言い終えHRは終わった

途端に教室は活気に満ちた。友達と雑談する者、放課後の予定を決めるカップル。

ハア…どうせ友達少ないですよーだ。その少ない友達もトイレに行ってるし…

この活気に満ちた空間は俺には毒だなと思いき寝ることにした。ふて寝じゃない。断じてふて寝じゃない。

俺は誰に説明してんだろう?と思いつつ意識を手放した。

テンプレなんだぜ

すうつと目を開く

まず最初に視認するのは机の木目だろう

俺は机にうつ伏せで寝たのだから

だから目が覚めたら視界に飛び込んでくるのは木目のはずだ

なのに…

「知らない天井だ…っってお約束ですわわかります」

そつ目を開いて最初に飛び込んできたのは知らない天井

ということはあるか？テンプレ的に俺死んだのか？確かに小さい頃に両親亡くして高額なバイトしながら生活費とか経ててるからいつかテンプレ的なのに巻き込まれるんじゃないかね？とか淡い幻想を抱いていた時期はあつたけどさ…

待てよ？これがテンプレならここは現世とあの世の狭間なら近くに土下座してる幼女とかがいるはず！

キョロキョロ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5498ba/>

扉の先に広がる世界

2012年1月15日03時47分発行